

インターネットトラブル



発信のリスク

- 今や日常会話と同じ感覚で、インターネットへの投稿や書き込みをしている子どもたち。でも、発信者には、受信者が正しく受け取れるように、情報を正確に伝える責任があることを意識しているでしょうか。

自分が発信した情報の責任は自分にある

単なるつぶやきや投稿でも、内容次第で社会的信用を失い、就職などの将来に影響を与えることもあります。

一生消えない情報(書き込み、写真など)

一度ネットに公開したら、消すことは限りなく不可能です。前項でも述べましたが、動画や写真、つぶやきでも不適切な投稿は、未来の自分に負の遺産として残ります。

個人を特定できる情報発信の危うさを知る

悪意をもった人には、小中学生のSNSから友達関係を探るのは簡単です。ネットでつながっているからこそ、みんなで気をつけていかなければ危険です。写真や動画の投稿には、背景や写り込みへの気配りも大切になってきます。

受信のリスク

- 最近のインターネットでは、情報検索などの傾向から、使えば使うほど、その人の興味関心に合う情報やコメントが優先的に表示されるようになってきているのをご存じですか？

情報が偏る「フィルターバブル」

情報のふるい分けにより、自分に有益で見たい情報が優先的に表示されるため、他の情報が表示されにくくなります。そのため、興味関心が偏りやすくなる傾向があることを知っておきましょう。

偏りを増幅する「エコーチェンバー」

価値観の似た者同士の交流の繰り返しによって、考えの偏りが増幅・強化されます。

スマホを使いこなす子どもたちには、これらの現象がより強く生じる傾向があります。表示された情報をうのみにせず、多様な情報に接するようにしたいものです。



インターネット依存、出会い系サイトほか

インターネットがやめられない

- 現代は、日常生活の中で、TVを見るのと同じ感覚で、身近にあるインターネットを見ることができ環境にあります。また、オンラインゲームのメンバーから外されたくないという思いから、延々とインターネットを使う時間が増え、昼夜逆転の生活になるなど、日常生活に支障をきたすことがあります。

▶ 子どもと共通の話題を持ち、保護者から積極的に声をかけ、コミュニケーションを取りましょう。

▶ 子どもと一緒に、学習や読書、睡眠の時間を設定し、生活環境を整えるように勧めましょう。

素敵な出会いのように思えても

- インターネットの世界では、名前や性別などを偽り、架空の人物になりすましている人もいます。そのような人の中には、相手を言葉巧みに信用させ、個人情報を聞き出したり、直接会うように要求してきたりすることがあります。

▶ 日常の子どもの様子を見守り、気になった時は声をかけましょう。



使い始める前に規約の確認を!

アプリやSNS使用に関しては、それぞれに使用のための規約があります。規約の中には、年齢制限や課金、登録された情報等について記載されています。細かい文字で書かれている場合もありますが、子ども大人を問わず、必ず確認をしてください。12歳以下は使用を認めないものもあり、知らなかったでは済まされない場合もあります。大きな問題に発展しないよう、普段の使用状況についても定期的に確認しましょう。

子どもがネット犯罪に巻き込まれている可能性がある時は、保護者だけで抱え込まず、第三者(学校や警察など)に相談しましょう。



放っておくと危険です!

子どもの様子に該当する項目がないか、チェックしてみてください。

- 急に学校へ行きたがらなくなった。
- 部屋にこもることが多くなった。
- 友達関係が変わってきた。
- ゲームやメール、SNS、ネットサーフィンをしていて、朝が起きづらくなっている。
- 時間や場所に関係なく、常にネット機器を持っている、あるいは、使っている。
- 家族とのコミュニケーションが減った。
- ネット機器の使用をやめるように注意すると、イライラしたり怒ったりする。
- 保護者に無断でパスワードの変更をしている。
- フィルタリングを外してほしいと要求してくる。
- 携帯電話等の請求金額が上がった。

STOP!

出会い系サイト ~3つの約束で未然に防ぐ~ (警察庁)

- ① インターネットに出会いを求める書き込みをしない!
- ② インターネット上で知り合った相手とは直接会わない!
- ③ インターネットに個人情報・写真の掲載はしない!



家庭での情報モラルの必要性

家庭では、情報モラル教育についての取組が必要です。このリーフレットで示したような問題点に関しては、それぞれの家庭に応じて、「我が家のルール」を作ることが大事です。その際、以下の点をしっかり踏まえたくて取組をお願いします。

- 子どもとしっかり話し合っ規則を決めること
- 子どもが守れる規則を考えること
- 守れなかった時はどうすればいいか家族で相談すること
- 決めた規則で困ることがあった際も家族で相談すること

※ 家庭のルールは、ルールそのものも大事ですが、それを決めるプロセスはさらに大事です。自発的にルールを守る意識を高めるように決めること、また、その後の運用の仕方について話し合うことは特に大事だと言えます。